

≪第4次岐阜県教育振興基本計画≫ ◆「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」の育成 ・《自立力・共生力・創造力》 ≪東白川村教育目標・教育夢プラン≫ ◆村を愛し、よりよい生涯と社会を築くために、心豊かにたくましく生きる人間性の育成 ◇少子高齢化の中にあってもいきいきと暮らせるよう創意工夫を凝らした事業を展開する。義務教育学校「東白川学園」開校に向けての準備を計画的・積極的に進める。	≪学校課題≫ ○生徒一人一人に自己有用感を積み上げ、「夢や希望のもてる生徒」の育成 ○自ら判断・行動し、協働して取り組む態度の育成 ○主体的・対話的で深い学びの実現 ○地域や少人数の特性を生かし、ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自己の生き方を見つめる生徒の育成
--	--

学校の教育目標

〈 自ら 〉 求め 鍛え 高め あう  
 ～胸が張れる学校・胸が張れる生徒～

目指す生徒像

確かな学力	豊かな人間性	健やかな心と体
□ <b>自ら学び、進んで問題解決できる生徒</b>	□ <b>願いと思いやりの心をもって、仲間とともにやり抜く生徒</b>	□ <b>心と体の健康について考え、自ら行動できる生徒</b>

指導の重点

◎最重点 ○重点

◎深い学びを実現する授業改善 ・学びたい、必然性のある課題 ・ <b>出口を明確にし、見通しのもてる授業づくり（1時間・単元）</b> ・見通し→追究・対話→振り返り（対話時間の確保） ○個に応じた確かな学力の定着 ・自己選択・判断の場の設定 ・学習習慣・家庭学習の充実 ・好き・得意の芽を伸ばす指導 ・ICTの効果的な活用 ○コミュニケーション能力の強化 ・読書に親しむ環境づくり ・意図的な話す場の設定 ◆「授業がよく分かる」→85% ◆「課題解決に自分で考え、自分から取り組んでいる」→90%	☆東中4本柱の指導 『挨拶』『掃除』『合唱』『授業』 ◎学校・学級文化の創り手となる活動 ・願い→行動（自己決定）→振り返り ・自立を意識・価値あること（本質）の追及 ・異学年交流活動の積極的推進と自治力の醸成 ○「考え、議論する道徳」の実践 ・多様な考え方と出会い交流する授業 ○高い人権意識の高揚 ・違いを理解し、互いを尊重する活動 ◎地域と願いを共有し共に創る学びの充実 ・体験重視・地域色重視 ・本物・本質に学ぶふるさと・キャリア教育 ◆「学校に来ることが楽しい」→3.5 100% ◆夢や目標をもっていますか→60% ◆「自分にはよいところがある」→85%	◎自己管理能力の強化 ・生活習慣を見つめる活動 ・自律的なメディア利用 ・生徒会とのタイアップ、自立を意識・価値あること（本質）の追究（自治力の醸成） ・食育、歯科、性に関する指導 ・運動に親しむ機会の充実 ○教育支援体制の充実 ・生徒指導交流による共通指導 ・小学校、保護者、関係機関との連携 ・SC等専門家との連携強化 ◆学校事故・交通事故＝0 ◆就寝1時間前ノードイア→40% ◆さわやか情報モラル→3.3
--	--	--

学校・職員のスタンス

教育の理念『自啓・創造・協同』

① 生徒一人一人を大切に、常に資質の向上に努め、学校(学級)で胸が張れる教師 〈使命感と責任、学び続ける教師、確かな指導力 勤務の適正化 確かな社会認識、危機管理〉 ・生徒の <b>自己決定の尊重</b> ・ <b>「どの子にも」と「この子には」</b> の視点・ <b>地域の人、物、施設を積極的に生かす</b> ・気づく(聴く)、つく(関わる)、つなげる(広げる) ・ <b>東白川中だからこぞできる教育実践</b> ② 保護者や地域の願いを大切に、地域で胸が張れる教師 〈家庭・地域との連携、小学校との連携、地域クラブとの連携、積極的で、親密的な対話、情報発信、保護者、地域と願いを共有〉 ③ 社会の一員として、自身の地域、家庭でも胸が張れる教師 〈ワークライフバランス、自身も地域の一員として役割を果たす、地域社会人〉 指導のキーワード「胸が張れますか」「社会に出たときどうなの」「(東中らしい) 楽しいことやろうよ」「東中アンカーとしてどうなの」
--